

# 令和3年度 福生市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(第8期) 施策評価調書

事前資料4-1

高齢者福祉計画と介護保険事業計画は、基本理念を「住み慣れた地域で、安心して、心豊かに生活するために～地域包括ケアシステムの推進～」とし、計画を推進していくために三つの基本目標を定め、具体的な取組を展開していきます。

●今期(R3～R05)のポイント  
前期の計画は、第5期福生市地域福祉計画に含め進捗管理していましたが、今期の計画から介護保険事業計画(第8期)と一体的な計画として策定し、進捗管理していきます。

基本方針	施策の方向性	指標と目標				総括	
		指標名	R2	R3	R4		R5
			現状値	計画値	計画値		計画値
			実績値	実績値	実績値		
基本目標1 いきいき・すこやか	社会参加・生きがい P.32～P.33	介護サポーター事業の登録者数 (人)	46	53	59	65	介護サポーターの主な活動場所は介護保険施設であるため、新型コロナウイルス感染症の影響で配食ボランティアのみの活動となりましたが、公民館事業や老人福祉センターの講座、カラオケサークルなどが再開しました。今後も感染状況を見ながら、高齢者の社会参加のきっかけづくりとなるよう各種事業を実施します。
		老人福祉センターの講座等の延べ参加人数 (人)	—	26			
	介護予防・フレイル予防 P.34～P.35	介護予防教室の参加者 (人)	173	400	400	400	
基本目標2 あんしん生活	認知症の支援 P.36～P.37	高齢者見守りキーホルダー・アイロンシールの登録者数 (人)	130	240	240	240	緊急事態宣言中は中止しました。解除後はコロナウイルス感染症拡大防止のため、参加定員を減らし開催回数を増やして実施しました。そのため、参加者数は計画を下回っていますが、中止が相次いだ令和2年度に比べて参加者は増加しました。
		認知症相談窓口の認知度 ※	119	125	150	175	
		（基準は令和元年度 一般高齢者 31.7% 要支援者(認定者) 27.5%）	—	165			
	一般高齢者			35.7%			
	要介護者(認定者)			31.5%			
	救急医療情報キット新規配布人数 (人)	109	120	120	120		
見守り支援 P.38～P.39	救急医療情報キット新規配布人数 (人)	—	103			救急医療情報キット新規配布事業については新型コロナウイルス感染症の影響で、イベント等が開催されず配布数が目標値を達成しませんでした。救急代理通報システム等の事業と合わせ、高齢者の見守りを継続して実施しました。	
	生活支援 P.40～P.41	配食サービス事業の年間配食数 (食)	10,193	10,000	10,500	11,000	配食は計画値を達成しませんでした。入院やショートステイの利用が多く、利用者登録があるものの配食を一定期間停止している方が多い状況でした。生活の状況に合わせ支援を継続します。
	住まい・住環境の支援 P.42～P.43	自立支援住宅改修給付事業 (件)	36	30	30	30	手すりの設置等の自立支援住宅改修給付事業は、計画を達成しました。必要な方には入浴補助用具などの給付と組み合わせ、高齢者の生活にあった支援を行いました。
基本目標3 ささえる介護	介護を支える地域づくり P.44～P.45	家族介護者教室の参加者数 (人)	57	78	78	78	コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加定員を減らして実施しました。また、高齢者の自主的な参加控えもあり、参加者数が減少しました。
		リハビリテーションサービス提供体制の構築 P.88	リハビリテーション専門職による出張講座回数 (回)	0	7	7	
	介護給付適正化計画 P.96～P.97	ケアプラン点検実施件数 (件)	—	2			令和2年度はコロナウイルス感染症拡大のため派遣依頼が全くありませんでしたが、令和3年度は2件の派遣依頼があり、出張講座を2回実施しました。
			3	6	6	6	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため計画よりも減少し、書面にて実施しました。今後も個々の受給者が真に必要なとするサービス提供に努めていきます。

※この指標は、3年毎に実施している高齢者実態調査の項目の一つです。 次回の調査は令和4年度で中間結果となり、次々回調査は令和7年度を予定しています。